

# 劇台本「座敷わらし」完全版

## 登場人物（15人）

1. ナレーター（2人）
2. 家の主人（お父さん）
3. 主人の妻（お母さん）
4. 長男
5. 長女
6. 祖母
7. 村人A
8. 村人B
9. 村人C
10. 旅人
11. 宿の主人
12. 座敷わらし（2人：赤と青）
13. 村人合唱（兼任で数人）

## 第一幕「古い屋敷と噂」（約7分）

ナレーター1「むかしむかし、遠野の村に、一軒の古い屋敷がありました。人々は、その屋敷に“座敷わらし”が住むと噂していました。」

村人A「聞いたか？座敷わらしのいる家は、必ず栄えるらしいぞ。」

村人B「けどなぁ、もし出ていってしまったら、その家はあっという間に衰えるんだと。」

村人C「ふん、ただの作り話だろう。見たこともないのに。」

村人A「いや、昔この村の宿に泊まった旅人が、座敷わらしを見たと言っていたぞ。」

（ざわざわと村人たちが首をかしげる。そこへ一家が登場）

お父さん「今日からこの屋敷で暮らすことになった。我らの新しい住まいだ。」

お母さん「古いけれど広い屋敷ね。掃除をすれば、きっと気持ちよく暮らせませすよ。」

長男「うわぁ、広い！走り回れる！」

長女「でも、ちょっと暗いね...。」

祖母「子どもたち、怖がることはないよ。この家には“座敷わらし”がいるかもしれないんだから。」

長女「座敷わらし？」

祖母「子どもと遊ぶのが好きな、かわいい精霊さ。出会えたら幸せになれる。仲良く暮らすんだよ。」

（照明を落とし、不思議な音楽で暗転）

## 第二幕「座敷わらしとの出会い」（約7分）

（舞台：夜の座敷。子どもたちが布団で寝ている）

（静かな笛の音。座敷わらし2人がふわりと登場）

座敷わらしA「この家の子どもたち、元気そうだね。」

座敷わらしB「うん。私たちも一緒に遊んであげよう。」

長男「だ、だれ...？」

座敷わらしA「私たちは“座敷わらし”。安心して。悪いことはしないよ。」

長女「ほんと？遊んでくれるの？」

座敷わらしB「もちろん！」

(音楽アップ。みんなで手毬遊びや鬼ごっこ風の演技。舞台上を動き回る)

長男「わぁ、速い！捕まえられないよ！」

長女「きゃははは！」

お母さん「まあ...これが、座敷わらし...。」

(遊びの合間に、村人合唱が舞台袖から歌声を入れる。「わらしのうた」風：リズムに合わせて「ともに遊べば幸せ来るよ」など簡単な繰り返し)

ナレーター2「子どもたちは座敷わらしと仲良くなり、家には笑い声があふれました。」

(遊びのシーンを長めにすることで時間を調整可能。暗転)

### 第三幕「旅人の話と別れ」(約6分)

(舞台：村の宿。村人たちが旅人を囲む)

旅人「この村には、不思議な座敷わらしがいると聞きました。私も昨夜、笑い声を聞きましたぞ。」

村人A「やっぱり本当だったのか！」

村人B「その家は、ますます栄えるぞ！」

(場面転換：屋敷の中。座敷わらし2人が少し寂しそうに座っている)

座敷わらしA「もうすぐ、次の家へ行く時が来たみたい。」

座敷わらしB「でも、この家族と過ごした時間は、ずっと忘れない。」

長女「行かないで！まだ一緒に遊んで！」

長男「ぼくたち、もっと遊びたいんだ！」

座敷わらしA「大丈夫。君たちが仲良く暮らせば、幸せは続くよ。」

座敷わらしB「私たちは姿を消しても、心の中にいるんだ。」

お父さん「ありがとう、座敷わらし。私たちは、家族を大切に暮らしていく。」

祖母「そうだね。人の幸せは、心の結びつきから生まれるんだ。」

ナレーター1「こうして家族は、座敷わらしの思い出を胸に、力を合わせて生き続けました。」

(全員が舞台に並ぶ)

合唱「仲良く暮らせば 幸せ続く 座敷わらしは 心に生きる」

(最後に全員で一礼、幕)